



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月1日

上場会社名 日油株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4403 URL <https://www.nof.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 沢村 孝司  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 古川 英 TEL 03-5424-6651  
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月1日  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	101,804	△1.9	20,051	△1.9	22,274	△1.4	16,330	△6.4
2023年3月期第2四半期	103,808	15.2	20,434	10.4	22,580	17.3	17,444	30.8

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 20,913百万円 (26.2%) 2023年3月期第2四半期 16,574百万円 (2.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	202.89	—
2023年3月期第2四半期	213.44	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	324,238	253,734	78.0
2023年3月期	309,438	240,002	77.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 252,881百万円 2023年3月期 239,176百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	50.00	—	58.00	108.00
2024年3月期	—	56.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	56.00	112.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	220,000	1.1	40,000	△1.5	42,500	△1.6	32,500	△4.3	404.01

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	82,841,376株	2023年3月期	82,841,376株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	2,454,310株	2023年3月期	2,053,795株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	80,492,423株	2023年3月期2Q	81,728,826株

(注) 当社は、2020年3月期より「株式給付信託（BBT）」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当上半期は、ウクライナ危機や米中の対立、原燃料価格の高止まり、世界的なインフレ継続、金融情勢の混乱等の懸念もあり、世界経済の先行きは不透明な状況が続きました。国内においては、新型コロナウイルス感染症が日本国内における感染症法上の位置づけとして「5類感染症」に移行されたことを受けて、社会経済活動の正常化が進み、個人消費や設備投資、生産活動等に緩やかな回復傾向が見られました。

当社グループを取り巻く事業環境は、国内の景気は緩やかに回復しているものの、中国経済停滞の長期化による下振れの影響が懸念される状況にありました。

このような事業環境下、当社グループは当事業年度を初年度とする3ヵ年計画「2025中期経営計画」において、「実践と躍進」を基本方針として掲げ、課題である「市場の変化を捉えた事業拡大」「新製品・新技術開発の加速」「生産性の向上」「安全・安心の追求」「CSRの推進」に取り組み、新市場開拓と拡販ならびに生産コストの低減に努め、持続的成長に向けた経営努力を積み重ねてまいりました。

「市場の変化を捉えた事業拡大」に関しては、「ライフ・ヘルスケア」「電子・情報」「環境・エネルギー」の3分野を中心に事業領域の拡大を図り、ソリューションビジネスモデルへの転換を進めております。また、昨年度実施したエレクトロニクス分野や健康食品分野でのオープンイノベーションによる事業協創の取り組みを今年度は医療・医療機器分野においても実施し、「新製品・新技術開発の加速」を推進しております。

これらの結果、当上半期の連結売上高は、101,804百万円と前年同期比1.9%の減収となりました。営業利益は、20,051百万円と前年同期比1.9%減益、経常利益は、22,274百万円と前年同期比1.4%減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、16,330百万円と前年同期比6.4%減益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

当会計年度より従来「ライフサイエンス事業」として表示していた報告セグメントの名称を「医薬・医療・健康事業」に変更しております。なお、主要製品の呼称につきましても「食用加工油脂」を「食用加工油脂・食品機能材」に、「機能食品関連製品（栄養食品、健康関連製品）」を「健康関連製品」に変更しております。

また、連結子会社であるNOF EUROPE GmbHにつきましても、従来「機能化学品事業」に含めておりましたが、当該子会社の業務管理区分を見直し、「医薬・医療・健康事業」に含めて表示する方法に変更しております。

なお、以下の前年同期比については、変更後の報告セグメントの区分に組み替えた数値で比較をしております。

#### ①機能化学品事業

脂肪酸誘導体は、アジアにおける環境エネルギー関連の出荷が減少し、売上高は減少しました。

界面活性剤は、トイレタリー関連の出荷が減少し、売上高は減少しました。

エチレンオキシド・プロピレンオキシド誘導体は、海外向け需要が低調に推移し、売上高は減少しました。

有機過酸化物は、国内での需要が減少し、売上高は減少しました。

特殊防錆処理剤は、海外向け自動車関連の需要が堅調に推移し、売上高は増加しました。

これらの結果、機能化学品事業の売上高は、63,663百万円（前年同期比5.2%減）、営業利益は、9,997百万円（前年同期比13.8%減）となりました。

#### ②医薬・医療・健康事業

食用加工油脂・食品機能材は、製パン・製菓・加工食品向けの需要が落ち着いたものの原燃料価格高騰を受け販売価格を改定し、売上高は増加しました。

健康関連製品は、健康食品向けの出荷が増加し、売上高は増加しました。

生体適合性素材は、MPC（2-メタクリロイルオキシエチルホスホリルコリン）関連製品の出荷が減少し、売上高は減少しました。

DDS（ドラッグ・デリバリー・システム：薬物送達システム）医薬用製剤原料は、欧米への出荷が堅調に推移し、売上高は増加しました。

これらの結果、医薬・医療・健康事業の売上高は、26,410百万円（前年同期比0.0%増）、営業利益は、10,498百万円（前年同期比7.6%増）となりました。

## ③化薬事業

産業用爆薬類は、売上高は増加しました。

宇宙関連製品は、ロケット向け製品の出荷が増え、売上高は増加しました。

防衛関連製品は、売上高は増加しました。

機能製品は、売上高は減少しました。

これらの結果、化薬事業の売上高は、11,437百万円(前年同期比14.5%増)、営業利益は、739百万円(前年同期は営業損失127百万円)となりました。

## ④その他の事業

その他の事業は、運送事業および不動産事業から構成されております。その売上高は、292百万円(前年同期比23.5%増)、営業利益は、99百万円(前年同期比11.5%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産は、前期末に比べ14,799百万円増加し、324,238百万円となりました。

資産の増減の主な内容は、現金及び預金の増加1,599百万円、棚卸資産の増加3,183百万円、売上債権の減少864百万円、有形固定資産の増加6,653百万円、投資有価証券の四半期末時価評価等による増加3,478百万円等でありませ

ず。

負債は、前期末に比べ1,067百万円増加し、70,503百万円となりました。

負債の増減の主な内容は、買入債務の増加1,785百万円、未払法人税等の減少1,585百万円、繰延税金負債の増加1,393百万円等であります。

純資産は、前期末に比べ13,732百万円増加し、253,734百万円となりました。

純資産の増減の主な内容は、親会社株主に帰属する四半期純利益16,330百万円、為替換算調整勘定の増加1,922百万円、その他有価証券評価差額金の増加2,615百万円、剰余金の配当による減少4,688百万円、自己株式の取得等による減少2,481百万円等であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2023年5月11日に公表しました2024年3月期の連結業績予想を修正しております。

具体的な内容については、本日(11月1日)公表しております「2024年3月期通期の連結業績予想修正並びに剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	92,520	94,119
受取手形、売掛金及び契約資産	45,971	44,860
電子記録債権	3,014	3,262
商品及び製品	30,079	29,900
仕掛品	3,412	5,774
原材料及び貯蔵品	16,245	17,246
その他	2,706	3,373
貸倒引当金	△199	△218
流動資産合計	193,750	198,317
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,181	25,337
土地	20,790	20,857
その他（純額）	19,891	24,322
有形固定資産合計	63,863	70,517
無形固定資産		
その他	1,148	1,332
無形固定資産合計	1,148	1,332
投資その他の資産		
投資有価証券	44,719	48,197
退職給付に係る資産	3,071	3,090
その他	2,944	2,844
貸倒引当金	△60	△60
投資その他の資産合計	50,675	54,071
固定資産合計	115,688	125,921
資産合計	309,438	324,238
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,496	19,965
電子記録債務	1,230	1,547
短期借入金	2,080	2,062
1年内返済予定の長期借入金	150	150
未払法人税等	8,626	7,041
賞与引当金	3,521	3,566
その他	17,492	17,332
流動負債合計	51,598	51,666
固定負債		
長期借入金	2,332	2,344
退職給付に係る負債	4,842	4,861
その他	10,662	11,630
固定負債合計	17,837	18,836
負債合計	69,436	70,503

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,742	17,742
資本剰余金	15,052	15,052
利益剰余金	192,092	203,735
自己株式	△10,299	△12,780
株主資本合計	214,588	223,749
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,725	24,340
為替換算調整勘定	2,683	4,606
退職給付に係る調整累計額	180	184
その他の包括利益累計額合計	24,588	29,131
非支配株主持分	825	853
純資産合計	240,002	253,734
負債純資産合計	309,438	324,238

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	103,808	101,804
売上原価	66,244	63,774
売上総利益	37,564	38,030
販売費及び一般管理費	17,129	17,978
営業利益	20,434	20,051
営業外収益		
受取利息	75	140
受取配当金	652	601
為替差益	1,298	1,232
その他	312	534
営業外収益合計	2,339	2,509
営業外費用		
支払利息	31	62
不動産賃貸費用	40	38
固定資産撤去費用	41	116
その他	80	68
営業外費用合計	193	285
経常利益	22,580	22,274
特別利益		
固定資産売却益	5	0
固定資産受贈益	—	411
投資有価証券売却益	2,527	786
抱合せ株式消滅差益	34	—
特別利益合計	2,568	1,198
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	12	20
投資有価証券売却損	—	7
特別損失合計	13	27
税金等調整前四半期純利益	25,136	23,446
法人税等	7,690	7,100
四半期純利益	17,445	16,345
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	14
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,444	16,330

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	17,445	16,345
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,887	2,619
為替換算調整勘定	3,002	1,944
退職給付に係る調整額	13	3
その他の包括利益合計	△870	4,567
四半期包括利益	16,574	20,913
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,484	20,873
非支配株主に係る四半期包括利益	90	40

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、主として当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用して計算した金額を計上しております。

## (セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機能化学 品事業	医薬・医 療・健康 事業	化薬事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	67,187	26,398	9,985	103,571	237	103,808	—	103,808
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,136	559	8	2,704	3,961	6,665	△6,665	—
計	69,324	26,958	9,993	106,276	4,198	110,474	△6,665	103,808
セグメント利益又は 損失(△)	11,598	9,761	△127	21,231	112	21,344	△910	20,434

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送、不動産販売および管理業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△910百万円には、セグメント間取引消去40百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△950百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機能化学 品事業	医薬・医 療・健康 事業	化薬事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	63,663	26,410	11,437	101,511	292	101,804	—	101,804
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,917	441	5	2,364	3,996	6,361	△6,361	—
計	65,581	26,851	11,443	103,876	4,289	108,165	△6,361	101,804
セグメント利益	9,997	10,498	739	21,235	99	21,335	△1,283	20,051

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送、不動産販売および管理業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,283百万円には、セグメント間取引消去65百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,348百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「ライフサイエンス事業」として表示していた報告セグメントの名称を「医薬・医療・健康事業」に変更しております。また、連結子会社であるNOF EUROPE GmbHにつきましては、従来「機能化学製品事業」に含めておりましたが、当該子会社の業務管理区分を見直し、「医薬・医療・健康事業」に含めて表示する方法に変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の名称および区分方法により作成したものを記載しております。

## （重要な後発事象）

## 自己株式の取得および消却

当社は、2023年11月1日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式取得に係る事項および会社法第178条の規定に基づく自己株式の消却に係る事項を決議いたしました。

## 1. 自己株式の取得および消却を行う理由

株主還元の充実および資本効率の向上を図るとともに、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能にするため。

## 2. 取得に係る取締役会の決議内容

（1）取得対象株式の種類	当社普通株式
（2）取得し得る株式の総数	600,000株（上限）
（3）株式の取得価額の総額	3,000,000,000円（上限）
（4）取得期間	2023年11月2日より2024年1月31日まで
（5）取得方法	東京証券取引所における市場買付け

## 3. 消却に係る取締役会の決議内容

（1）消却対象株式の種類	当社普通株式
（2）消却する株式の総数	2,000,000株
（3）消却予定日	2023年11月15日
（4）消却後の発行済株式総数	80,841,376株